

厚労科研 辻井班(発達研修開発)

1) 8. 感覚特性のアセスメントツール

感覚プロフィール

長崎大学生命医科学域

長崎大学子ども心の医療・教育センター

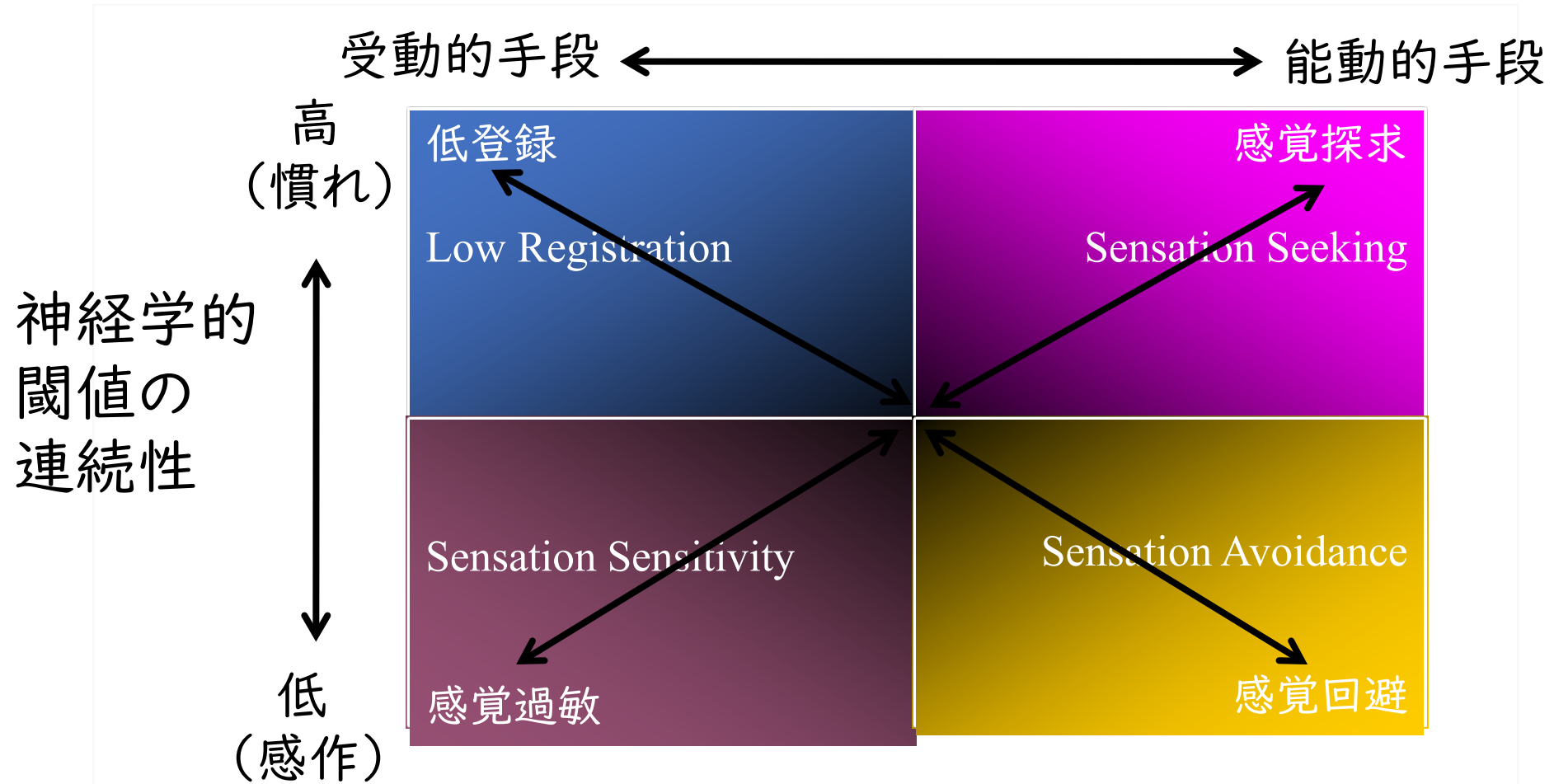
岩永竜一郎

# 感覚の問題

- 感覚刺激に対する反応異常が自閉スペクトラム症 (ASD) 児の80%以上に見られる (Gomes et al., 2008; Marco et al., 2011)。
- 青年成人版感覚プロフィール (自己回答) で94.4%のASD者に感覚の問題あり (Crane et al., 2009)。
- ASDの人の信頼性のある自序伝全てに感覚の問題が記述されている (Elwin et al., 2012)。

# 感覚刺激への反応の様式

## 自己調整行動反応の連続性



# 感覚過敏、感覚回避

- 赤ちゃんの泣き声を嫌う
- 嫌いな音に耳ふさぎをする
- 他の人の接触を避ける
- 歯磨き、耳掃除を極端に嫌がる
- 特定の感触の洋服しか着ない
- 蛍光灯を嫌う
- 特定の味・臭いを嫌う

# 低登録

- 呼んでも振り向かない
- 触られても反応しない
- 痛みを訴えない
- 目が回らない

# 感覚探求

- 物を咬む
- くるくる回り続ける
- 扉や壁をドンドン叩く
- 頭を床に打ち付ける
- 他の人にべたべた触る
- 泥を触る
- キラキラ光る物を見つめ続ける

# 感覚プロフィール

# 感覚プロフィールの種類

## ①乳幼児版感覚プロフィール(ITSP)(0-36ヶ月)

0-6ヶ月用は36項目、7-36ヶ月は48項目。  
養育者が回答。

## ②感覚プロフィール(SP)(3-10歳用) (日本版では3-82歳)

125項目。養育者や支援者が回答。

## ③青年成人感覚プロフィール(AASP) (11歳-82歳)

60項目。自己回答式の質問紙で本人が回答。  
11-17歳群、18-64歳群、65歳以上群の3つの  
年齢群ごとの標準データがある。





# 回答方法

- 養育者（10歳以下の場合）もしくは本人（11歳以上の場合）が、
  - 1.しない（ほぼ0%）
  - 2.まれに（およそ25%の割合）
  - 3.ときどき（およそ50%の割合）
  - 4.しばしば（およそ75%の割合）
  - 5.いつも（ほぼ100%の割合）の5段階回答をする。

# 結果を表すカテゴリー

## セクション別スコア

	セクション
感覚処理	A.聴覚
	B.視覚
	C.前庭覚
	D.触覚
	E.複合感覚
	F.口腔感覚
調整機能	G.耐久性・筋緊張に関する感覚処理
	H.身体的位置や動きに関する調整機能
	I.活動レベルに影響する運動の調整機能
	J.情動反応に影響する感覚入力の調整機能
	K.情動反応や活動レベルに影響する視覚の調整機能
行動や情動反応	L.情動的・社会的反応
	M.感覚処理による行動のあらわれ
	N.反応の閾を示す項目

# 結果を表すカテゴリー 因子別スコア

因子分析で明らかになった  
因子に基づくスコアリング

## 因子

1. 感覚探求
2. 情動的反応
3. 耐久の低さ・筋緊張
4. 口腔感覚過敏
5. 不注意・散漫性
6. 低登録
7. 感覚過敏
8. 寡動
9. 微細運動・知覚

# 結果を表すカテゴリー

## 3-10歳版

Dunnモデルに基づく  
スコアリング

象限

低登録

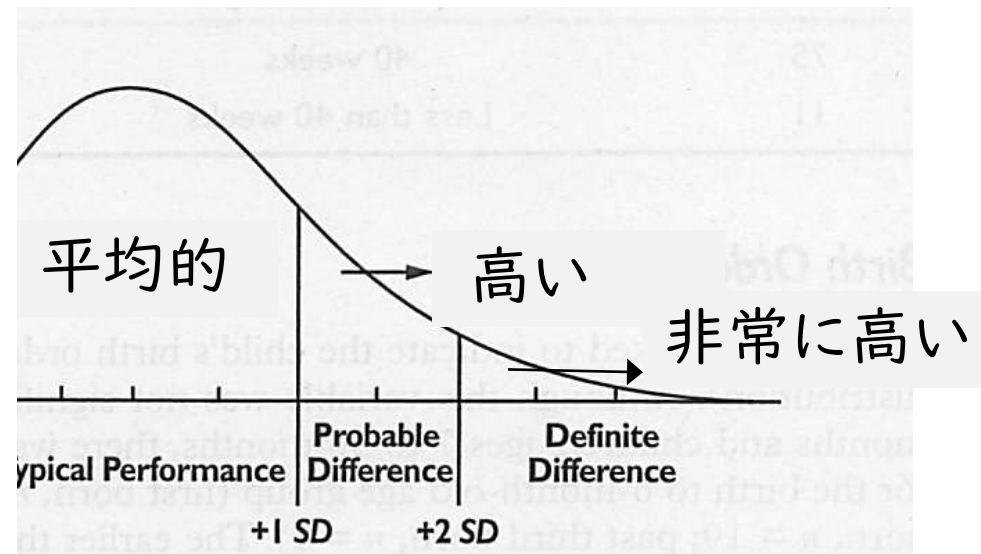
感覚探求

感覚過敏

感覚回避

# 評定方法

- 対象児者のスコアが標準的な状態と比較して「非常に低い」、「低い」、「平均的」、「高い」、「非常に高い」のいずれの範囲に入るかを評定し、感覚処理の特性をとらえる。



- 但し、3-10歳版は、標準データが正規分布せず、「非常に低い」、「低い」がほとんどなかったため、「平均的」、「高い」、「非常に高い」の3段階評価となっている。

## 回答の例

- 症例1: 8歳男児
- 診断: ASD
- IQ: 109
- 母からの訴え: 同級生とのトラブルが多い、他の子どもから何か言われると叩いたり蹴ったりする、授業中に集中できない。

# 項目ごとの回答

				A. 聴覚				
セクション	象限	閾値		(※0) 5点	(※0) 7点	(※0) 9点	(※0) 10点	(※0) 15点
?	I	L	1				✓	
?	I	L	2		✓			
?	Ⓞ	L	3		✓			
?	Ⓞ	L	4					✓
?	I	L	5			✓		
?	—	H	6			✓		
?	—	H	7		✓			
?	ㄣ	H	8	✓				
セクションスコア合計								

日本文化科学社「日本版感覚プロフィール」保護者（観察者）用質問票、2ページより改変転載  
日本文化科学社より許可を得て転載

# セクション別スコア

感覚処理	セクションスコア合計	平均的	高い	非常に高い
A. 聴覚	35 /40	8 …… 16	17 …… 26	27 <del>×</del> 40
B. 視覚	10 /45	9 <del>×</del> …… 14	15 …… 21	22 …… 45
C. 前庭覚	18 /55	11 …… 16	17 <del>×</del> …… 23	24 …… 55
D. 触覚	45 /90	18 …… 24	25 …… 37	38 <del>×</del> …… 90
E. 複合感覚	12 /35	7 …… 10	11 <del>×</del> …… 14	15 …… 35
F. 口腔感覚	40 /60	12 …… 16	17 …… 30	31 <del>×</del> …… 60
<b>調整機能</b>				
G. 耐久性・筋緊張に関する感覚処理	30 /45	9 …… 13	14 …… 23	24 <del>×</del> …… 45
H. 身体の位置や動きに関する調整機能	29 /50	10 …… 14	15 …… 22	23 <del>×</del> …… 50
I. 活動レベルに影響する運動の調整機能	10 /35	7 <del>×</del> …… 16	17 …… 22	23 …… 35
J. 情動反応に影響する感覚入力の調整機能	9 /20	4 …… 5	6 …… <del>×</del>	10 …… 20
K. 情動反応や活動レベルに影響する視覚の調整機能	6 /20	4 …… <del>×</del>	7 …… 10	11 …… 20
<b>行動や情動反応</b>				
L. 情動的・社会的反応	55 /85	17 …… 35	36 …… 51	52 <del>×</del> …… 85
M. 感覚処理による行動のあらわれ	24 /30	6 …… 13	14 …… 21	22 <del>×</del> …… 30
N. 反応の閾を示す項目	7 /15	3 …… 4	5 …… <del>×</del>	8 …… 15

日本文化科学社「日本版感覚プロファイル」スコア集計シート、3ページより改変転載  
日本文化科学社より許可を得て転載



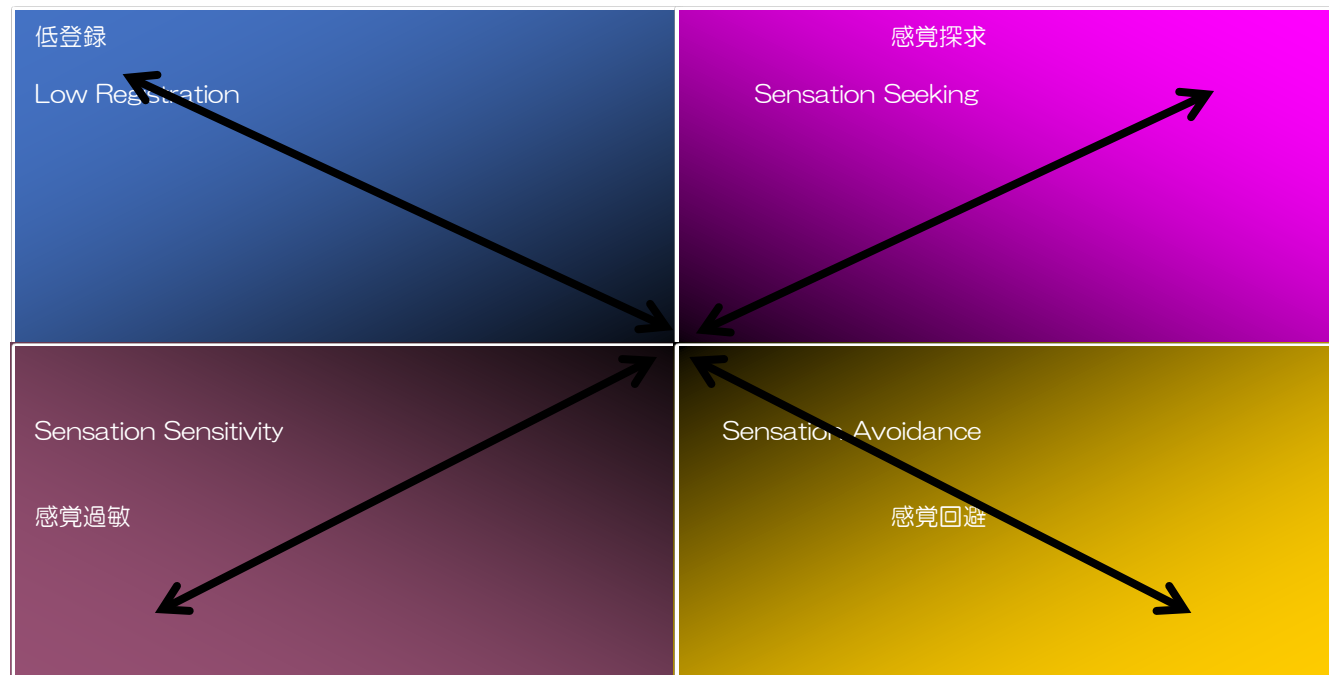
# 因子スコア(3-10歳用)

因子	因子スコア合計	平均的	高い	非常に高い
1. 感覚探究	22 /85	17 <del>×</del> 29	30 …… 43	44 …… 85
2. 感情反応	70 /80	16 …… 35	36 …… 51	52 <del>×</del> 80
3. 耐久の低さ・筋緊張	24 /45	9 …… 13	14 …… 23	<del>×</del> 24 …… 45
4. 口腔感覚過敏	40 /45	9 …… 12	13 …… 22	23 <del>×</del> 45
5. 不注意・散漫性	30 /35	7 …… 14	15 …… 22	23 <del>×</del> 35
6. 低登録	31 /40	8 …… 10	11 …… 16	17 <del>×</del> 40
7. 感覚過敏	15 /20	4 …… 5	6 …… 9	10 <del>×</del> 20
8. 寡動	15 /20	4 …… 11	12 <del>×</del> 15	16 …… 20
9. 微細運動・知覚	11 /15	3 …… 5	6 …… 10	<del>×</del> 11 …… 15

日本文化科学社「日本版感覚プロフィール」スコア集計シート、4ページより改変転載  
日本文化科学社より許可を得て転載

# 象限(Quadrant)スコア

象 限	象限スコア合計	平均的	高 い	非常に高い
1.低登録	36 /75	15 …… 22	23 …… 35	<del>36 …… 75</del>
2.感覚探究	30 /130	<del>26 …… 41</del>	42 …… 60	61 …… 130
3.感覚過敏	45 /100	20 …… 30	31 …… 41	<del>42 …… 100</del>
4.感覚回避	82 /145	29 …… 52	53 …… 74	<del>75 …… 145</del>



日本文化科学社「日本版感覚  
プロフィール」スコア集計シート、  
2ページより改変転載  
日本文化科学社より許可を得て  
転載

# まとめ

- 発達障害児者への支援において感覚処理の  
アセスメントは重要である。
- 感覚プロフィールのスコアによって、対象児者の  
感覚処理特性を把握できる。